

SYM RV125,180EFI 用 取り付け説明書

必要工具

ドリル (10mmのキリがつかめるもの) 一般整備工具 (ドライバー、ボックスレンチなど)
布ガムテープ ヘラ、

ワイパー電源を用意する。



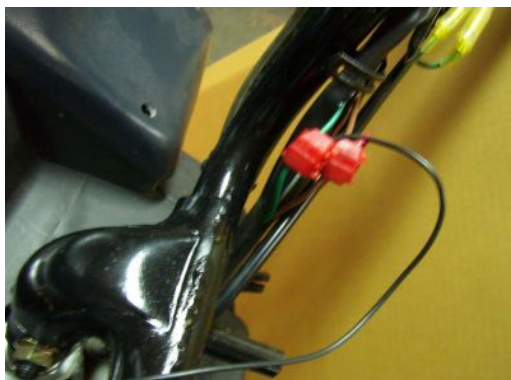
矢印のビスを取りハンドルカバーを外す
左右4本、後ろ1本。



外側カバーは上へずらすようにして取る。



配線コードを包んでいるハンドル右の黒い
ビニールのカバーをカッターで切り裂く。
(中のコードを傷つけないよう注意)

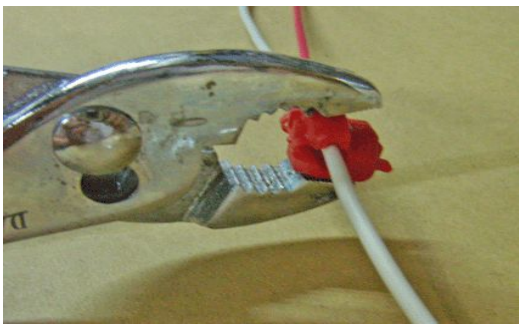


ワイパースイッチ側赤コードを車体側の茶
色コードに、スイッチ側黒コードを車体側
緑コードにつなぐ。

拡大



ワイパー電源を用意する。つづき



赤色のワンタッチコネクタでコードを挟みプライヤーなどで締めるだけでよい。白いコードが実際には緑又は茶色になる。



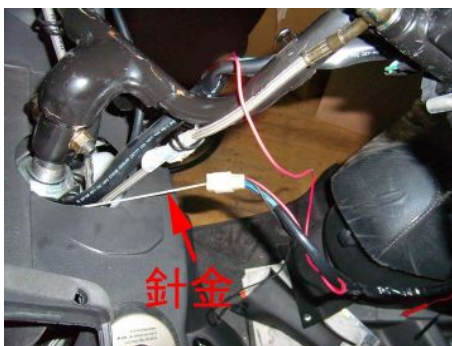
ノーマルのスクリーンを外す。



フロントカウルに電源用の穴をあける。20mm 位のホールソーがない場合は付属の 10mm キリで 4 ケ開けて中をニッパなどで取り除く。普通のキリは貫通時に食い込みが生じ失敗する危険が高くなります。付属のキリは食い込みがないよう加工してありますので 10mm キリを使う場合は必ず付属の物を使ってください。



ワイパースイッチボックスを左ブレーキレバー根本のビスを利用して留める
(下のナットを忘れないこと)



ワイパースイッチ側のコネクタ（クリーム色）をハンドル中央根元の穴からフロントカウルに開けた電源用穴へ通す。

ワイパー電源を用意する。つづき 2



少し曲げた針金を使って導き出す。

ワイパー作動をテストする。

カプラー接続、メインスイッチ ON、ワイパースイッチ ON、OFF)

作動しない場合はワンタッチカプラー部を確認。その他ヒューズ、クリーム色カプラー内の端子の抜け、曲りなどを確認。

以上でワイパー電源が用意できました。

フロントカウルを取り付ける



左右の蓋は取り外します。



付属ゲージを使ってカウル取り付け穴を付属の10mm キリで穴を開ける



後ろはカウルの穴にあわせて開けるが、一気にせず、端を穴開け固定してから、他の一方の端を開け、固定していく。

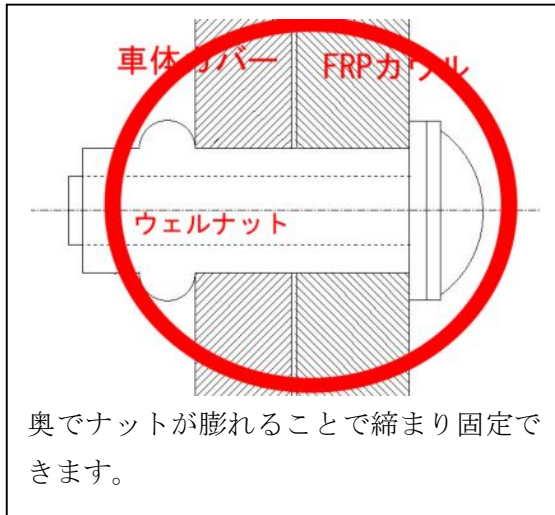


カウルにワイパーモーターをつける。ナット側はある程度動くので、ずれているときは細いドライバーなどで調整する。穴の中心からワイパーシャフトが出る位置で固定。

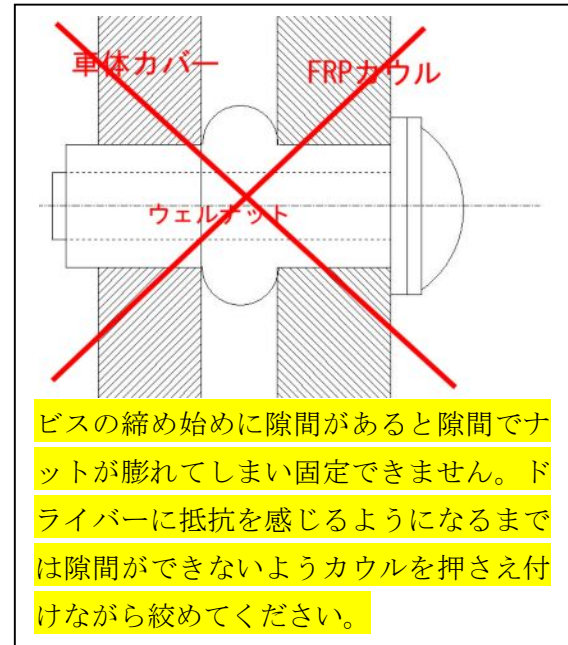


カプラーの接続を忘れずにしてカウルを後ろから被せてゴムのナット（ウェルナット）をカウルの上から差し込み締めて、前を固定する。ゴムが中で膨れて固定できるので手ごたえあるようになるまで締める。（締め過ぎないこと）

フロントカウルを取り付けるつづき



奥でナットが膨れることで締め固定できます。



ビスの締め始めに隙間があると隙間でナットが膨れてしまい固定できません。ドライバーに抵抗を感じるようになるまでは隙間ができないようカウルを押しえ付けながら絞めてください。

スクリーンを付ける。



レインモールを後で付けるので上の2本(左右4本)はまだ締めない。

ワイパーを取り付ける



アームにブレードを付ける。割りピンをビスのピン穴に差し込み広げる。

ワイパーモーターを定位置停止の状態にする。メインスイッチを回してからモータースイッチをON、作動確認してモータースイッチ OFF その後メインスイッチ OFF。

《これでワイパーモーターは定位置停止(アクセルグリップ側)で停止した事になる》

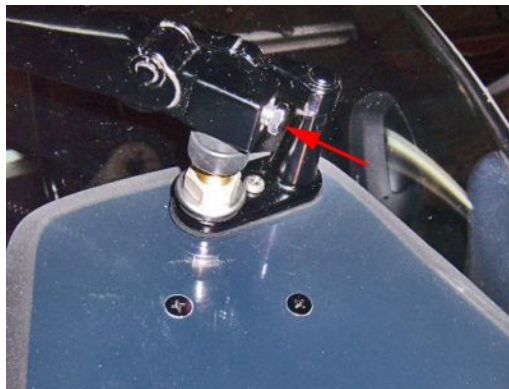
モーターシャフトに目印のテープを張ると目視確認しやすい。

定位置停止でない状態で、アームを固定し作動させると、作動範囲外で動くためスクリーン、カウルを傷つけてしまうので要注意。

ワイパーを取り付けるつづき



ブレードがスクリーンの端（アクセルグリップ側）より 4cm ぐらいで固定。



一旦シャフトにしっかりとハマり込むまで緩めてから締める。このボルトが緩むとアームがずれた位置で動き、スクリーンやカウルを傷つけることになるので、しっかりめに締める。

ワイパー根本の重なりは下からカウル、スクリーン、小判ゴム板、アームベース、厚ゴムワッシャー、ステンワッシャー、ナット、ゴムキャップシール、アーム大端部

バックミラーを左右入れ替える。



ノーマル状態ではミラーステーがカウルに干渉する。

パイプ支柱ブラケットを取り付ける。



バックレストとタンデムグリップのボルトを 5 本全て外すがタンデムグリップはそのまま外さない。



パイプブラケットをタンデムグリップに被せ元のようにボルトで固定。バックレストはノーマルのボルト使用。

パイプ支柱、ルーフを取り付ける。

全てウェルナットを使用して。

ルーフとスクリーンを繋ぐ。

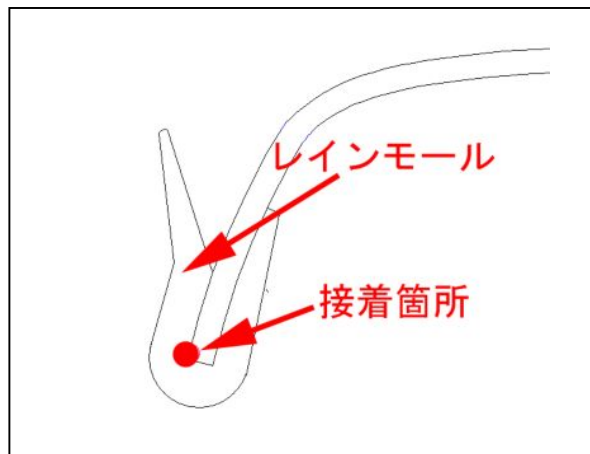


ビスワッシャー類の組み合わせ。

レインモールを取り付ける。



モールをめくって奥(下)へ極微量を1.5cm 間隔で点付。モールが波打たないように、すぐの下から押さえる。



まだ締めてなかった上の2本(左右4本)を締める。

以上で終了です。